

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

44

2015年3月発行

オシャレしてみよう！

障害をもっている子どもたちは、自分で服を選んだり、コーディネートしているかしら？「いつも、お母さんが選んだ服を着ている」「機能重視で、おしゃれは二の次」なんてことないかしら？着るものに関心を持ったり、場にあった服装を選ぶことができるようになったり、時にはおしゃれして出かけたりして欲しいと思います。当法人では「自立生活プログラム・子ども版」の中で、「衣」についての実践も重ねてきました。

今回は、「どんな服が好きかな？」の自由活動と、ウインドウショッピングとファッションショーの2回のイベントで、子どもたちが「オシャレ」を体験しました。ファッションショーは、地域の方々にも見に来ていただきたいと思い、「ファッションショー&音楽会」という形で開催しました。「どんな服が好きかな？」は、子どもたちがファッション雑誌や通信販売の雑誌などを見て、自分の好きな洋服や小物や髪型を選んで、思い思いに切り貼りをして、自分の好きなファッションを考えてみました。



ショッピングセンターにいこう

日時：2015年1月10日（土）10：30～16：00

場所：地域生活サポートネットほうぷ〜ベルファ(大阪市都島区)

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 9名、学生ボランティア 5名

市バスに乗って隣の区のショッピングセンターに行きました。ファミリーレストランの空いている11時半に昼食を食べました。子どもたちはメニューの写真を見ながら、それぞれ注文を決めました。その後、学生さんとペアで、あるいはグループで、お店を見て回りました。年の近い学生さんと一緒に洋服を選んだり小物を選んだりする子ども、百円均一のお店でじっくり品定めをする子ども。それぞれのペースでショッピングセンターを回りました。最後に、駄菓子屋さんでお菓子を買いました。みんなが100円を握りしめ、足し算したり引き算したりしながらお菓子を選びました。計算のできない子どもは、学生さんに「これとこれ、買える？」と相談しながら選びました。

<ボランティアの感想から>

- ・ 前のイベントで関わった子どもだったので、自ら話しかけてくれることが多く、以前

より仲良くなることができた。団体で移動して、通行人の迷惑になることがあったので反省した。

- ・ 最初、S店で小物を見たが、口数が少なかった。だんだんと話ができるようになり、U店ではいろいろな服を見て、好きな服を決めた。目的の買い物ができて良かった。
- ・ Aくんは欲しいものがないようで、Bくんの服を一緒に選んで回った。Aくんはお兄さんのおさがりを着ているとのことで、洋服には問題ないようだった。(兄弟の好みと一緒にとは限らないですよ～：スタッフつぶやき)



ファッションショー & 音楽会 ～ジブンを表現しよう～

日時：2015年1月24日(土) 13:00～16:30

場所：地域生活サポートネットほうび

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 11名、学生ボランティア 9名

協力：トモ美容室

音楽：Buono2633さん

見学者：12名



子どもたちが、自分の着たい服を着て、髪をセットしてもらい、それぞれの好きな音楽に合わせて登場しました。踊る子ども、ポーズを取る子ども、それぞれのおしゃれのポイントを発表しました。ご家族やご近所の方もみに来ていただきました。ショーの最後は、ウエディングドレス姿の女子が登場！美容師さんにドレスやケープをお借りしました。思わず、お父さんは涙？「ファッションショーですよ～。涙は本番に取っておいてくださいね。写真撮ってくださいよ～」、なんて一コマもありました。子どもたちは、普段できない体験をしました。ファッションショーの後は、Buono2633のお二人による音楽タイム。会場の皆で楽しみました。

<ボランティアの感想から>

- ・ いつもと違う子どもたちがいました。緊張しながら、自分を表現していました。
- ・ ファッションショーはさまざまな服を着て、みんなが楽しそうにしていたので、こちらも楽しかったです。音楽会もいろんな曲をみんなと身体を使って楽しめて良かったです。



<見学者の感想から>

- ・ それぞれに个性的でパフォーマンスも楽しく見せていただきました。自分の好きな曲で登場もいいですね。人前で自分を表現できるなんてすごいですね。恥ずかしい顔や笑顔にも癒されました。
- ・ ファッションショー、みんな、とてもすてきでした。いろんなことに取り組んで、いろんな刺激を受けて成長されていけるのがわかります。とても気持ちよく演奏させていただきました。こちらの方が元気をもらいました。企画されるのも大変と思いますが、また楽しいイベントにご一緒させていただけたらうれしいです。
- ・ 大変楽しいひと時をありがとうございました。孫の少しずつの成長が見られたような気がしてうれしかったです。
- ・ 子ども達の表情がすてきでした。盛りだくさんで良いなあと思います。
- ・ 子どもたちがすてきで感動しました。音楽も参加スタイルで楽しめました。
- ・ みんなの恥ずかしそうな嬉しそうな笑顔が、何か私に希望を与えてくれました。
- ・ 妹がとっても素敵でした。私も服のデザインをしてみたくなりました。ポーノ 2633 さんの歌もすごくよかったです。とっても楽しかったです！



☆ほうぷコレクション in Winter☆



髪の毛のセット♡
お化粧もちょっと





みんなでスケート

日時：2015年2月21日（土）9：30～13：00

場所：地域生活サポートネットほうぶ～門真スポーツセンター(なみはやドーム)

参加者：障害をもつ子どもときょうだい 8名、学生ボランティア 9名

旭区の障害者と関係者の交流の場である「和^{なご}んで座談会」のイベントに、団体で参加させていただきました。ボランティアの学生さんたちと一緒に電車に乗って会場に行きました。リンクでは、大阪工業大学のアイスホッケー部のみなさんがサポートをしてくださいました。初めてスケート靴を履く子がほとんどでした。ヘルメットを着けて滑走(?)開始。おそるおそる歩く子ども、氷上そりに座ってはしゃぐ子ども、みるみる上達する子ども。学生さんたちも一緒に楽しく滑っていました。みんなスケートを満喫したようです。旭区内のいろんな方々と出会うこともできました。とても盛り上がったイベントでした。

<ボランティアの感想から>

- ・ スケートは初体験でしたが、サポートの人のおかげもあって、皆で楽しく滑れた。
- ・ 活動が始まってすぐはあまり動けなかった。Aさんは、一人で動くことが多かったが楽しそうだったのでよかったと思う。電車に近づこうとすることが多かったので、気をつけた。スケートの時も積極的に活動してくれていたと思う。
- ・ みんなと連なって滑ることで初スケートは良い思い出になった。
- ・ スケート場では、ほうぶ以外での知り合いや友だちに出会って、いつもとは違う姿も見ることができた。
- ・ 初めてスケートをした。ほうぶの皆と楽しく滑ることができた。Aちゃんは、最初、あまりやりたがらなかったですが、後々、滑ってくれてうれしかったし楽しそうだった。私は、全く滑れなかったが、だんだん形になったので、楽しくできた。



放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

今年度の下半期は、スタッフのスキルアップをはかったり、環境や記録・報告書などの整備を行ったりして、活動内容を充実させるよう努めました。個別支援計画は、6カ月ごとの見直しの都度、スタッフで話し合いをしてきましたが、課題もありましたので、エルム大阪の出前研修をお願いして、個別のケースの相談に加え、子どもとの関わり方や遊びの工夫などを教えていただきました。児童発達支援管理責任者が、虐待防止や障害者差別解消法の研修会に参加したり、町会の防災講習会に参加したりして、スタッフに伝達を行いました。また、関西子どもの権利条約フォーラムに参加して子どもの権利について考えることもしました。ヒヤリハット報告とその改善や対応についての話し合いも重ねました。

開所から1年が経過しましたので、子どもたちと保護者の方々にアンケートをとらせていただきました。また、日頃、保護者の方々とゆっくりお話しできないので、希望される方に対して個別懇談も実施しました。

個人将来計画ワークショップも保護者とお話をする機会となります。2月は高校1年の女子のワークショップを開催しました。学生ボランティアが遊びに来てくれた日で、たくさんの友だちや学生さんがいろんな意見を出し、楽しく盛り上がりました。

子どもたちは、日々の遊びや勉強に加え、クッキングや七宝焼きなどの創作活動に取り組んだり、大学生さんたちと音楽遊びや外遊びをしたりと、元気に活動しています。節分の巻寿司作りには近所の女性の方々がお手伝いに来てくださいました。

3月には、子どもたちが将来を思い描く機会をつくろうと、子どもたちも参加できる研修会を企画しました。先輩の障害当事者を招いて、親子参加の勉強会を開催しました。

楽童ほうぶ満足度アンケート

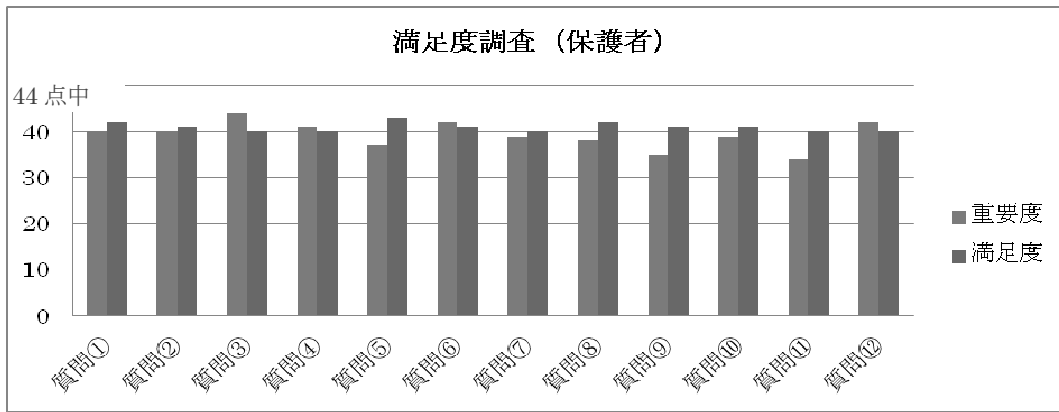
七宝焼きも上達
してきました



★保護者対象

以下の質問に対して、重要度と満足度をそれぞれ1~4の数字で回答していただきました。

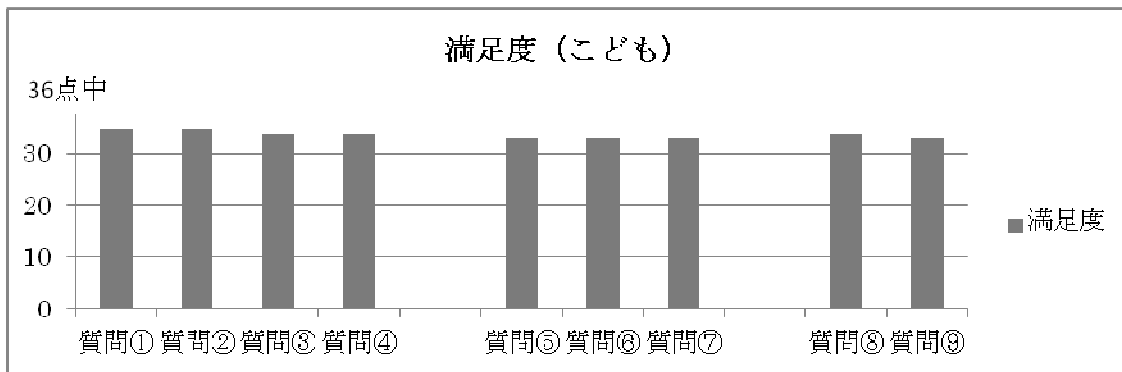
- ① 職員のあいさつ（こんにちは、おかえりなさいなど）
- ② 職員の対応の仕方（子ども・保護者に対して）
- ③ 職員への相談のしやすさ
- ④ ほうぶからの連絡や報告（連絡ノートや電話連絡など）
- ⑤ お知らせや案内などのわかりやすさ（イベントチラシや利用申込や請求など）
- ⑥ 子どもの主体性の尊重（本人の「やりたい」思い）
- ⑦ 活動内容（クッキング・音楽・おやつ・勉強など）
- ⑧ イベントの内容（外出・交流会・クリスマス会など）
- ⑨ 実費負担（おやつ代・クッキングや創作活動の材料費など）
- ⑩ 施設の安全性や衛生面（部屋・トイレなど）
- ⑪ 設備・備品などの使いやすさ（テーブル・ロッカー・おもちゃなど）
- ⑫ 危機管理体制（感染症対策や災害対策など）



★子ども対象

以下の質問に対して、「とてもいい、いい、よくない、わるい」の顔の絵を選択してもらいました。それを1~4の点数にして集計をしました。

- ① 職員は挨拶してくれますか？（おかえりなさい、さようなら など）
- ② ほうぶの職員のかかわり方はいいですか？
- ③ ほうぶの職員と、はなしやすいですか？
- ④ ほうぶの連絡はわかりやすいですか？
- ⑤ ほうぶで、したいことができていますか？
- ⑥ ほうぶのクッキングや音楽会やおやつや勉強は楽しいですか？
- ⑦ おでかけなどは、楽しいですか？
- ⑧ ほうぶの部屋やトイレはきれいですか？
- ⑨ ほうぶのテーブルやおもちゃは、使いやすいですか？



春の七草のお勉強！
勉強の後は、七草粥



節分 巻寿司作り



バレンタイン
にチョコ作り



「先輩の話を聞いてみよう」親子研修会



3月7日土曜日の午前中に、「先輩の話を聞いてみよう」を開催しました。参加者は、楽童ほうぷに通ってきている子ども8人、保護者7人、ボランティア1人でした。高校生、大学生、社会人と、子どもたちの先輩にあたる3組の障害当事者と保護者やサポーターが来てくださいました。最初に、写真を交えながら、3名の先輩のお話を聴きました。中学や高校に進学した時の話、仕事の体験や就職の時の話、これからの夢などを語ってくださいました。その後、自己紹介と感想や質問など、意見交換をしました。

アンケート 回収：7枚 全員がよかった 4名が役に立った

<参加者の感想から>

- ・ 高校生・大学生・社会人と各世代での経験を聞き、参考になりました。今後の進路を悩んでいます。どうやって確認していけばいいのか、どうやったら楽しくなるのか、また経験談を聞く機会を設けてほしいです。
- ・ 学校のことや進路のことなど悩んでいました。今日、3人のお話を聞いて、いろんな選択があるんだと勉強になりました。子どもにとって、どういうふうにしてあげるのがいいのか、これから考えていきたいと思います。
- ・ 社会とのかかわりについて、どのようにどのようなことから考えていけばいいのか、全く考えられず、つい、自分の考えで進めてしまいそうで不安でした。自分で考えて、また好きなこともできて、生きることを楽しいと感じることが大切かなと、皆様の話を聞いて思いました。
- ・ いろいろやりたいことを探してチャレンジしている姿が良かったです。
- ・ 先輩の話はいつ聞いても頭が上がらないことばかりです。とてもぎっくばらんに話していただき、うれしかったです。みなさん、真剣にその時々取り組んでいくことが、ラッキーだったり、協力だったり、人脈だったりを得られるのかなと、逆に、そうしないと広がっていかないのかなと思いました。「義務教育修了後がしんどい」という意見がとても重いですが、今後ともよろしくお願ひします。



春がやってきました。暖かくなってきました。事務所の庭の大きな梅の木が濃いピンクの花をつけ、メジロがやってきました。その風景を眺めていると、心まで温かくなってきます。

新入学や進級の季節です。子どもたちに、たくさんの素敵な出会いがありますように。子どもたちの笑顔があふれる社会でありますように！

